

表3 学 習 の 手 引 き

| 単元 | 相似な図形 | 目 標 | 内 容 | 用 語 | 学年関連 | | | 計 算 ・ 図 例 | 用 具 | 備 考 |
|-----------|-------|---|--|--|------|---|---|-----------|-----|-----|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | | | |
| 配当時間 | 25 | | | | | | | | | |
| | | (1) 図形の相似な意味と相似比について理解させる (2) 相似な多角形について頂点、辺、角の対応を理解させる (3) 図形の相似を、 \sim を用いて表すことを理解させる (4) 相似の位置、相似の中心の意味を理解させる | | | | | | | | |
| 相 似 な 図 形 | | | 1. 相似な図形の意味と性質を理解する (1) 相似形……縮尺の異なる2つの地図の観察 対応する点、対応する線分、対応する角の観察 2. 相似の位置と中心を知る (1) 拡大図(縮小図)を書く ① グラフ用紙を使って書く ② 相似の中心を使って書く ○相似の中心の使い方と位置、図形の関係を理解する ③ 相似な位置にある図形……相似比 (2) 相似な2つの図形では ① 対応する線分の長さの比は等しい ② 対応する角の大きさは等しい 3. 三角形の相似条件 (1) 2つの三角形は次のとき相似になる ① 3組の辺の比が等しいとき ② 2組の辺の比が等しく、はさみ角が等しいとき ③ 2組の角がそれぞれ等しいとき 1. 平行線の性質 (1) 同位角、錯角、同側内角について復習し、平行線と角の関係をまとめる | 相 似 形 相 似 の 位 置 相 似 比 三 角 形 の 相 似 条 件 | ○ | | | | | |

表4 学 習 ノ ー ト の 形 式

| | |
|--|--|
| <p>第(4)章(連立方程式) §(2)(2元連立方程式の解き方)</p> <p>—〈本時のねらい〉—</p> <p>○文字を1つ消去して、1元1次方程式を作る ○加減法による連立方程式の解法を理解する</p> <p>—〈今までに学んだ事柄〉—</p> <p>1. 1元1次方程式の解 (1) xについての1元1次方程式を成り立たせる変数xの値をその1次方程式の解と言う (2) 解の集合を求めることを、その方程式を解くと言う</p> <p>2. 1元1次方程式の解き方 (1) 文字を含む項を一方の辺へ、数の項を他方の辺へ移項する (2) 両辺を整理して、$px = q$の形にする</p> <p>3. 等式の性質</p> <p>—〈復習のための練習問題〉—</p> <p>1. 次の方程式を解きなさい。 (1) $3(x-4) = 5x$ (2) $\frac{2}{3}x = \frac{x}{4} - 5$</p> <p>2. 次の集合で $A \cap B$ を求めなさい。 (1) $A = \{1, 2, 3\}$ $B = \{2, 3, 4, 5\}$ (2) $A = \{a, b, c, d\}$ $B = \{a, c, e\}$ (3) $A = \{1, 2, 3, 4\}$ $B = \{6, 7, 8\}$</p> | <p>—〈本時で学ぶ事柄〉—</p> <p>1. 2元1次方程式 (1) $x + y = 5$のように、2つの文字を含む方程式が2次方程式で、x、yについて1次式だから、2元1次方程式と言う。x、yの組を2元1次方程式の解</p> <p>2. 連立2元1次方程式 $\begin{cases} x + y = 5 \cdots (1) \\ 2x + y = 7 \cdots (2) \end{cases}$ のような1組の方程式を連立方程式と言う</p> <p>3. 連立2元1次方程式の解き方 (1) 加減法……2つの方程式の両辺を加えたり、引いたりしてどちらか一方の文字を消去して解く方法</p> <p>—〈本時の主な学習内容〉—</p> <p>1. 次の連立方程式を解きなさい。 (1) $\begin{cases} x + y = 5 \\ x - y = -3 \end{cases}$ (2) $\begin{cases} 3x + y = 11 \\ 3x - 2y = 5 \end{cases}$ (3) $\begin{cases} 2x - y = 4 \\ x - 2y = 5 \end{cases}$ (4) $\begin{cases} 6x - 5y = 5 \\ -3x + y = -1 \end{cases}$</p> <p>—〈整理テスト〉—</p> <p>1. 次の連立方程式を解きなさい。 (1) $\begin{cases} 5p + q = 11 \\ p - 2q = 11 \end{cases}$ (2) $\begin{cases} 4a - 5b = 6 \\ -3a + 2b = -1 \end{cases}$</p> |
|--|--|